
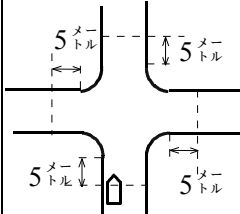
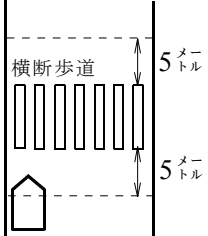
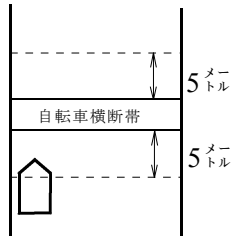
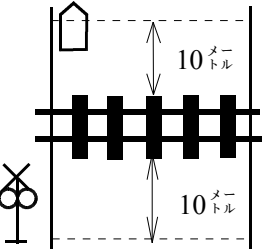
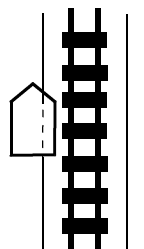
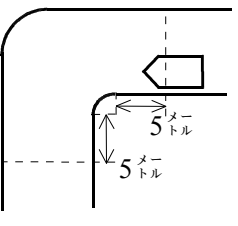
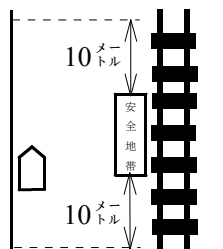
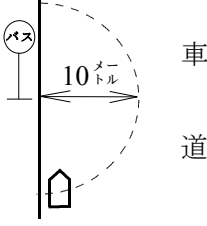
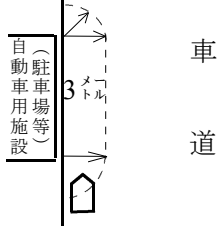
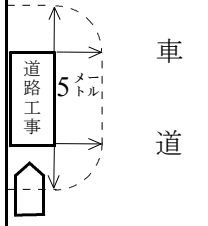
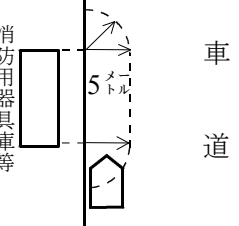
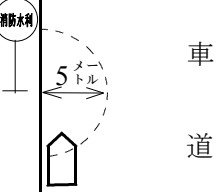
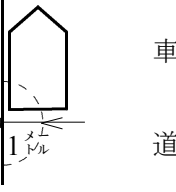
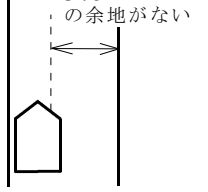
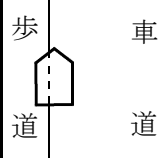
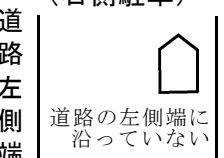
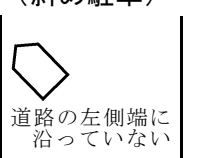
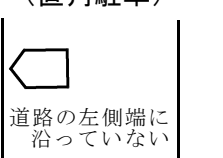
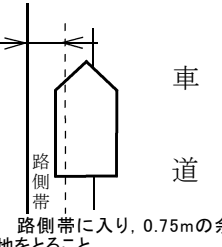
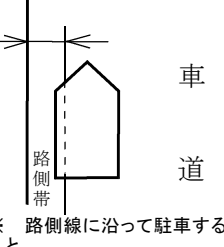
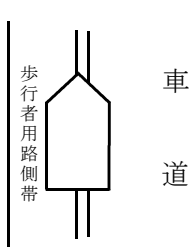
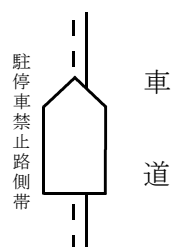


別添

「駐車禁止除外指定車標章」使用上の留意事項

- 1 駐車禁止除外指定車標章（以下「標章」といいます。）は、公安委員会による駐車禁止規制及び時間制限駐車区間規制が行われている道路の部分で使用することができます。  
ただし、歩行困難者等の標章の場合は、バス専用レーン時間帯に駐車できません。  
よって、次のような駐車は違反となります。
  - (1) 駐停車禁止場所の駐車（道交法第44条及び同法第75条の8）
  - (2) 法定駐車禁止場所の駐車（道交法第45条第1項各号及び第2項）
  - (3) 駐車の方法に従わない駐車（道交法第47条）
  - (4) 車庫代わり駐車（自動車の保管場所の確保等に関する法律第11条第1項）
  - (5) 長時間駐車（自動車の保管場所の確保等に関する法律第11条第2項）※ (1)から(3)については別紙1を参照してください。
- 2 標章の交付を受けた方（法人等を含む。）が、標章の表面記載の使用用務に使用中の場合のみ使用できます。  
また、歩行困難者等の方以外は表面記載の車両以外は使用できません。
- 3 標章を他人に譲渡、又は貸与することはできません。  
ただし、歩行困難者等の方が他人の介助を受けて車両に乗降するため、介助者に標章を受け渡しするため必要最小限度の時間、貸与する場合は除きます。
- 4 標章を使用する場合は、連絡先・用務先を読みやすく記載した紙とともに、車両の前面のダッシュボード上の外から見やすい箇所に掲示してください。  
この場合、連絡先・用務先を記載した紙は、大きさ、様式等は問いませんが、車外から確実に判読できるように記載、掲示してください。  
なお、例示としては別紙2のとおりです。
- 5 標章を使用して駐車中に、警察官から指示があった場合には、その指示に従ってください。
- 6 標章の使用に際して、前記1から5の事項を遵守しない場合には、公安委員会から標章の返納を命ぜられることがあります。
- 7 次の場合は、この標章を交付を受けた警察署長を経由して公安委員会に速やかに返納してください。
  - (1) 有効期限を経過したとき。
  - (2) 標章の交付を受けた理由がなくなったとき。
  - (3) 再交付を受けた後において、亡失した標章を発見したとき（発見した標章）。
  - (4) 公安委員会から返納を命ぜられたとき。
- 8 標章の更新手続きは、有効期限が満了する1月前から有効期限までの間に手続きを行ってください。  
ただし、歩行困難者等の方の標章については、有効期限（誕生日の1月後）が満了する2月前から有効期限までの間に手続きを行ってください。
- 9 標章を滅失し、亡失し又はき損したときは、駐車禁止除外指定車標章交付申請書により、住所地を管轄する警察署長に再交付の申請を行ってください。
- 10 標章の記載事項に変更が生じたときは、速やかに駐車禁止除外指定車標章記載事項変更届により住所地を管轄する警察署長に届出を行ってください。
- 11 標章を返納するときは、駐車禁止除外指定車標章返納届により住所地を管轄する警察署長に届出を行ってください。
- 12 標章はラミネート加工等しないでください。（有効期限延長や記載事項変更する際に必要事項を手書きします）

標章使用のできない場所及び方法（例）

<p>駐停車禁止場所</p> 	<p>交差点及び交差点付近</p> 	<p>横断歩道及びその前後</p> 	<p>自転車横断帯及びその前後</p> 
<p>踏切及びその前後</p> 	<p>軌道敷内</p> 	<p>道路のまがり角及びその付近</p> 	<p>安全地帯の左側とその前後</p> 
<p>バス停付近</p> 	<p>自動車用施設の出入口付近</p> 	<p>道路工事区域付近</p> 	<p>消防用器具庫等付近</p> 
<p>消防用施設付近</p> 	<p>火災報知器付近</p> 	<p>無余地駐車</p> 	<p>○ その他の場所          ・坂の頂上付近          ・勾（こう）配の急な坂          ・トンネル</p>
<p>歩道駐車</p> 	<p>道路の左側端に沿わない（右側駐車）</p> 	<p>道路の左側端に沿わない（斜め駐車）</p> 	<p>道路の左側端に沿わない（直角駐車）</p> 
<p>路側帯（0.75m以上）</p>  <p>※ 路側帯に入り、0.75mの余地をとること。</p>	<p>路側帯（0.75m以下）</p>  <p>※ 路側線に沿って駐車すること。</p>	<p>歩行者用路側帯</p> 	<p>駐停車禁止路側帯</p> 

別紙 2

(記載例)

行 先 緊急往診に行っています。

連絡先 携帯電話 □□□-△△△△

行 先 放置車両の確認事務のため付近にいます。

連絡先 会社電話 □□□-△△△△  
携帯電話 □□□-△△△△

行 先 ○○病院内科に行きます。

連絡先 ○○病院 □□□-△△△△  
携帯電話 □□□-△△△△